

市民参加を促す有効なツール



地域通貨「ZUKA」 (宝塚市)

ナビゲーター

特・宝塚NPOセンター 理事・事務局次長

山本 麗子

Reiko Yamamoto

地域の絆づくりが目的

「地域通貨」には、法定通貨では無理な財・サービスを評価することにより、それらの流通を活性化させようという目的のものが多い。既に日本各地では一五〇を超える地域通貨が生まれているがその一つ、宝塚NPOセンターが発行している「ZUKA」がある。

「ZUKA」の特徴は、阪神・淡路大震災で被災した市民が、地域コミュニティの重要性に気付き、地域の絆づくりを目的として発行された点にある。現在は一種類の「ZUKA」が発行されており、その価値の目安として、三〇分のサービスに対して一枚の「ZUKA」が支払われている（感謝の度合いが高ければそれ以上も可）。

現在、提供されているサービスには「パソコン指導」、「陶芸・料理の指導」、「掃除・買い物代行」、「育児・話し相手」、「車での送迎」などがある。

「ZUKA」はボランティア的地域通貨です。参加したい場合は、例えば、カーボランティアや買い物代行といったような、参加者が自分ができることをまず提出してもらいます。一方、お願いしたい人は自分がして欲しいことを書き出して事務局

に登録しているので、地元のコミュニティネットワークはありますが、基本的には自主的な交渉で需要と供給のマッチングを図っています」と今回のナビゲーターの山本麗子理事は説明する。

「ZUKA」のような互酬的取引の場合、やっやあげる者とやっやもらう者の間に対等な関係が生まれ、コミュニティの円滑化が進む。さらに、これまでにコミュニティ内でのつながりの無かった者同士が、通貨という媒体を通じて新たなネットワークを実現でき、その結果、定年退職者や子育てを終えた女性らが地域活動に参加するきっかけとなる。実際に、子供たちも参加するイベントを通じて世代間交流の手段としても成功したという。

このように「ZUKA」は、これを介して地域に住む人々が、忘れていた支え合いの大切さを再認識できる、貴重な例となっている。

(文責：CEL編集室)

CEL



民間の介護保険事業所「特・めふのお家」では、ボランティアを希望する人に渡されるなど、地域通貨「ZUKA」本来の役割が十分に発揮されている



「特・めふのお家」では、話し相手や散歩などの介助、昼食づくりのボランティアに感謝の気持ちを込めて「ZUKA」が手渡される

特・宝塚NPOセンター

〒665-0845

宝塚市栄町2-1-1 ソリオ1-3F

TEL&FAX 0797-85-7766/7799

Eメール zukanpo@hnpo.net

URL <http://www.hnpo.net/n/zukanpo>

エコマネーは、サービスの提供が終わると、「ありがとう」の気持ちと一緒に渡される。あたたかな心のつながりをエコマネーがつなぎ、地域に支えあいの輪が広がっている



西谷コミュニティーカーニバルにおいて、エコマネー会員による「昔の遊び」。中学生がなれない手つきで綾取りに挑戦。うまくほぎができるか、真剣な表情



会員の特技を發揮したハーブ石鹸づくりは大好評。男性の石鹸を捏ねる手にも力が入る。教えあいの輪も広がっていく



真剣な手つきで折り紙をおる小学生の男の子。日頃接することの少ないおばちゃん、おじちゃん世代との交流が温かくほほえましい